

2022.1.15 将棋講座 第9回

カラー・バス効果と手数計算



● カラー・バス効果

カラー・バス効果とは、ある1つのことを考えていると、その情報が集まつてくる現象のこと。人間は見ている物すべてに注意をはらっているわけではありません。すべてに注意をはらつていたら脳が情報でパンクしてしまいます。自分に関係のある情報だけを無意識にキャッチしています。

上の写真では赤を頭にイメージすると赤い色だけに意識が向かう、黄色を頭にイメージすると黄色だけに意識が向かうことを確認できたと思います。

同じような心理効果にカクテルパーティ効果があります。人混みや雑踏の中でも自分の名前はハッキリ聞き取れる効果のことです。



英語がまったくわからない人が英語を聞いても雑音にしか聞こえません。英語を少しづつ勉強する事によってだんだん聞き取れるようになっていきます。つまり英語を意味のある言葉と認識できるようになります。



●将棋の局面の見え方の違い

力皆さんが将棋を知らない頃は、プロの将棋を見ても素人の将棋との違いが分からなかつたと思います。本当に上手なのかどうかも分からない。将棋をだんだん覚えていくうちにプロの将棋の素晴らしさが分かるようになります。

例えば一局面を名人と素人が見るとします。見ている景色は同じでも、その内容は違うものを見ているはず。そこで局面を見た時の判断基準を増やす方法を紹介していきます。



先手の陣形は銀冠、後手はミレニアム。
玉の堅さは同じぐらいか。
駒の損得はなし…いや後手が1歩得している。
まだお互いに持駒が足りないから攻めていっても息切れする。
だから桂香を捨てる展開になるだろう。桂香を捨てた場合の竜の位置は…
相手に桂香を捨てさせない為には…

DSN-21

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
星	星	龍				王	星		-
馬						金	銀		=
			半	銀	金				△
半			半	半	半	半	半	半	○
		歩							
歩			銀		歩	歩	歩		
桂			歩		桂	銀			
	銀			金	金	玉			
香								香	

ECLIPS 角歩二



●手数計算



上の図は先手が▲6六角と上がって後手の飛車を下がらせた局面です。今からここで手数計算の考え方を言語化していきます。

「2筋の歩はお互い切れているから手数は打ち消しあう、お互いの飛と角は先手が2つ動かしてるのでに対して後手は動いていない、歩は先手が1つ進んでいる、金銀は先手が1つ動かしている後手は2つ動かしている。」こんな風に考えて先手は4手、後手は2手と計算します。

実際には2六飛が手得なのか微妙なため（後手の引き飛車のほうが良いケースも考えられる）にザックリとした計算で構いませんが、先手が得してる事は間違ないです。

慣れると要所要所で3秒ぐらいで計算できるので最初はユックリ間違ないように数えてください。この考え方を身に付けるだけで序盤感覚というか、中盤かけての駒組みで優勢勝ちしやすくなります。

手数は主に序盤で重要になるので手数計算は序盤だけで有効です。手数計算をするタイミングは普通の形勢判断と同じようにお互いのやり取りが一段落したタイミングにしてください。

